

最近テレビや雑誌で「発達障がい」がよく取り上げられていますが、具体的にどんな困りごとがあるのでしょうか？ 今回の市民講座では、当事者でないといかない 鋭敏、あるいは鈍麻な感覚の疑似体験をします。そして、発達障がいのある当事者の方に、社会生活での「リアルな日常・困った体験談」を伺います。

だれにも成長の凸凹があり、違った発達と未来の人生がある事を学びます。

# 発達障がい？Ⅱ

▶第28回こころの市民講座：飯田順三先生の「発達障害(神経発達症)の理解とケア」に引き続き、今回は「働く大人の発達障がい+疑似体験」で学び合しましょう。

2020年2月22日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)  
生駒市コミュニティセンター 4F会議室

なかむらまさし (セイセイビル)

●講師 **中村匡志さん**

●発言 **発達障がいの方の体験談**

●参加費：無料(申し込み不要/先着80名)

◆共催/生駒市・生駒精神障がい者後援会 ひだまりクローバー

◆問い合わせ/コミュニティスペースはなな TEL 0743-73-1050



「発達障がいの困りごと」  
一人ひとりの感覚は・・・  
それぞれ違って当たり前

肌合いや感触に敏感、辛くなる。



温度変化による体感が鈍い。



ケガの痛さに鈍感。

特定の音に敏感。逃げたくなる。  
又、人ごみで他人の声の聞き分けができなくて混乱する。



疑似体験

会場で発達障がいのある方の困りごとの疑似体験をします。  
▶感覚の鋭敏・鈍麻 ▶空間把握の混乱▶不器用さなど...  
▶困りごとを知るなかで、ご自分の感性に気づくことも一つの発見になるかも知れません。

文字や空間の把握が昔から苦手です。

